

高校公民プリント（過去問類似）

青年期と現代社会 No.7

名前

得点

/9

問1 現代社会における集団心理において、自らの思考停止や不安を背景に、強者や権威に対しては盲目的に同調する一方で、社会的少数者などの弱者に対しては根拠のない攻撃や迫害を加えるような、ファシズム受容の基盤となった心理的傾向を何というか。 (2022年 全国公立入試 類似)

1. 循環気質的パーソナリティ 2. 権威主義的パーソナリティ 3. 粘着気質的パーソナリティ 4. 分裂気質的パーソナリティ

問2 人間が生活の中でどのような価値を重視し、追求するかという関心の方向性に基づいて、パーソナリティを理論型、経済型、審美型、社会型、権力型、宗教型の6つのタイプに分類する類型論を提唱したドイツの哲学者は誰か。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. シェルドン 2. シュブランガー 3. ユング 4. クレッチマー

問3 青年期において、自己の容姿や能力などを他者と比較し、客観的な根拠が薄いにもかかわらず強い劣等感を抱いて悩む心理的傾向を何というか。心理学的には、無意識のうちに抑圧された感情や観念が複雑に絡み合った「感情の複合体」を指す言葉を答えよ。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. パーソナリティ 2. アイデンティティ 3. アンビバレンス 4. コンプレックス

問4 人間は本能的な欲望に流されやすく、放っておけば争いを引き起こす「悪をなす存在」であるが、自らの欲望から目を背けず、聖人が定めた外的な規範を内省の契機として自己を律することにより、後天的に善へと至ることができると主張した、中国・戦国時代の思想家は誰か。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. 荘子 2. 荀子 3. 墨子 4. 孟子

問5 人種やジェンダーなどによる歴史的・構造的な差別を解消し、実質的な機会均等を図るために、これまで不利益を被ってきた集団に対して、雇用や進学などの場面で一定の優遇措置を講じる暫定的な措置を何というか。 (2016年 全国公立入試 類似)

1. ワーク・ライフ・バランス 2. ユニバーサル・デザイン 3. ソーシャル・インクルージョン 4. アファーマティブ・アクション

問6 「大学に進学して勉強したいが、学費を払うためにアルバイトばかりして勉強時間が削られるのは嫌だ」というように、一つの対象に対して魅力的な側面と、避けたい側面の両方が存在し、選択に苦悩する心理状態を指す、レヴィン（レビン）が分類した心理的状況の名称として最も適当なものを答えよ。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. 接近-接近型 2. 接近-回避型 3. 二重接近-回避型 4. 回避-回避型

問7 青年期において、人は様々な欲求不満（フラストレーション）に直面する。その際、無意識のうちに不安や苦痛から自己を保護しようとする心の働き（防衛機制）が生じる。このうち、そのままでは社会的に認められない本能的な衝動や欲求を、学問、スポーツ、芸術活動といった、より高次の社会的価値をもつ活動へと向けることで克服しようとする心の働きを何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 抑圧 2. 昇華 3. 退行 4. 投影

問8 現代社会における労働は、賃金を得るための経済活動にとどまらず、多様な側面を持っている。オーストリア出身の思想家イリイチは、近代の産業社会において、賃金労働を成り立たせる前提でありながら、それ自体には報酬が支払われない、家事や育児などの不払い労働の存在を指摘した。このような、市場経済の影で社会を支える無償の労働を指す言葉として最も適当なものを答えよ。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. ディーセント・ワーク 2. アンペイド・ワーク 3. ジェンダー・ロール 4. シャドウ・ワーク

問9 著書『孤独な群衆』の中で、社会の発展段階に応じて人々の性格を3つの類型に分類し、現代の大衆社会に生きる人々は周囲の他人の動向や期待に敏感に同調しようとする傾向があると分析したアメリカの社会学者は誰か。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. マルクーゼ 2. リースマン 3. テンニース 4. ヴェーバー

答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 2 権威主義的パーソナリティ	エーリヒ・フロムらは、ナチズムを支持した大衆の心理を分析し、強者への服従と弱者への攻撃を特徴とする心理的傾向を「権威主義的パーソナリティ」と呼んだ。これは、自由の重圧に耐えかねて自律的な思考を停止し、権威に同調することで自己を正当化し、特定の集団を排斥・攻撃する心理メカニズムを説明するものである。単に不安を解消してくれる指導者を熱狂的に支持するだけでなく、他者への直接的な攻撃や迫害を伴う点が特徴である。
問2	答え 2 シュブランガー	人間が追求する価値（価値観）の置き方に基づいてパーソナリティを分類した。理論型は真理、経済型は有用性、審美型は美、社会型は愛や他者への奉仕、権力型は支配、宗教型は神や絶対的なものを追求するタイプとされる。
問3	答え 4 コンプレックス	青年期は自己意識が急速に高まる時期であり、他者との比較を通じて自己の能力や容姿に過度な劣等感を抱くことがある。心理学においては、無意識の中に抑圧された、感情と観念が複雑に結びついた複合体を指す言葉として用いられ、青年の自己形成や行動に大きな影響を与える。
問4	答え 2 荀子	人間の本性を悪（欲望に流されやすい性質）とし、後天的な努力（偽）や「礼」による矯正によって自己を律し、社会秩序を維持することを説いた。これは、自らの欲望という悪の根源を自覚し、外的な規範を契機に自己を律して善く生きるという倫理的態度を具体化したものである。
問5	答え 4 アファーマティブ・アクション	歴史的な経緯から生じた構造的な格差や差別を是正し、形式的な平等にとどまらない実質的な平等を達成するために導入される。これは固定化された格差を解消するための「暫定的な措置」であり、恒久的な優遇を目的とするものではない。日本語では「積極的格差改善措置」などとも訳される。
問6	答え 2 接近－回避型	レヴィン（レビン）は、同時に満たすことのできない複数の欲求の間で板挟みになる心理状態（コンフリクト）を、欲求の方向性（接近・回避）に基づいて分類した。一つの対象に対して、望ましい側面（接近）と避けたい側面（回避）が同時に存在して悩むパターンは「接近－回避型」と呼ばれる。
問7	答え 2 昇華	満たされない本能的欲求や衝動を、社会的に承認・推奨される価値の高い活動（芸術、学問、スポーツなど）に振り向けることで、健全な形で欲求を解消しようとする心の働きを指す。これに対し、自分の都合の良い理由をつけて正当化する「合理化」や、本来の欲求とは正反対の態度をとる「反動形成」、類似した別の目標で満足を得ようとする「代償」などがある。
問8	答え 4 シャドウ・ワーク	イリイチ（Ivan Illich）は、近代の産業社会において、賃金労働（ペイド・ワーク）の成立を陰で支えているにもかかわらず、市場価値が認められず無償で行われる労働（家事、育児、自己学習など）を「シャドウ・ワーク」と名付けた。これは、経済活動以外の側面や労働の多様性を捉える上で重要な概念であり、ジェンダーやケア労働の議論においても頻りに参照される。
問9	答え 2 リースマン	近代以降の社会変動に伴って、人々の社会的性格が伝統的な慣習に従う「伝統指向型」から、内面化された目標に従う「内部指向型」、そして周囲の他人に同調する「他人指向型」へと変化すると論じた。アドルノやフロムがファシズムを支えた権威主義的性格を分析したのに対し、大衆社会における同調傾向に着目した。